

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスminami		
○保護者評価実施期間	2025年11月17日～2025年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年11月17日～2025年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月19日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い空間があり、子どもたちがしっかり身体を動かせたり、静かな空間でゆったり過ごせる。	運動エリアを設けている。 事業所が2階の為、騒音対策として時間帯を決めて活動している。月ごとのスケジュールで児童に周知している。	仲良く場を共有できる児童が多いが、中にはやりたいことが違うこともあり思うように空間が使えないこともあるので、その際に将来的に子どもたちで話し合っ折り合いを付けていけるように仲介をしている段階。
2	衝立を設け、視覚から入る他者からの刺激を減らしている。	パソコンを行う児童からの視覚刺激が気になる子も居るので、衝立で空間を仕切っている。	すららを行う児童と、余暇を楽しむ児童が混在する時間帯がどうしてもできてしまい、すららが終わっていない児童の集中力が切れてしまうこともある。パソコンエリアに一人指導員を配置して見守っている。タブレット端末の追加は金銭的な問題もあるので、もう少し衝立を増やすなど、その他の方法で検討していきたい。
3	こどもの日々の様子や活動内容を説明している。	個人の写真を載せたり、課題や活動の狙いを説明している。	義務化されている取り組みの周知があまりできておらず、インスタグラムと併せて、利用者の保護者様のみが閲覧できるHUG上の活動記録を利用して発信していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導員が少ない。	送迎で抜ける際に手薄になる。	時間帯が被らない便は極力少ない車の台数で中抜け送迎の対応をしている。 少ない指導員でも対応できるよう時間帯で活動を設定してトラブルや怪我を防いでいる。 経営上の収支バランスも考慮して人員確保していく。
2	バリアフリーでないで、身体障害の児童の受け入れが困難。 また、敷地内に駐車場がない車は少し歩かなければならない。	2階に事業所があること。 敷地内での車の乗降が難しい。	賃貸なので、階段に昇降機をつけることは困難である。階段の角度によっては日当たりが良くなく、雪の日などは解けていないこともあるので指導員が安全確保を行っている。駐車場が激戦区でなかなか近隣を借りることができない。できるだけ道路を歩く際は指導員を多く付けて移動するようにしている。
3	活動が周知されていない。	活動記録の発信が少ない。	インスタグラムではトピックスは発信しており、フォローしてくださっている保護者様も多い。ただ、全員がタイミングよく見ている訳ではないので、利用者様(保護者様)のみが閲覧できるHUGの有効活用もしていきたい。

28	<p>こどもは遊所を楽しみにしていますか。</p>	18	1	1	<p>「おやつがない」とたまに子どもが言っています。 家庭としては保護者の負担が多少増えているので、もう少し内容を充実してくださればありがたいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 事業所では、おやつは職員としての役割づけであり、ご自宅での行事をしっかり行っていたことを大切に考えられております。また、毎日ご利用されるご家庭も、全てのご家庭の利用料金のご負担に感謝し、おやつは毎月一回で実施させていただいております。アレルギー対応や子ども同士のトラブル防止、公平性の観点からおやつは個別の対応は行っておりません。何卒、ご理解いただけますと幸いです。</p>
29	<p>事業所の運営に満足していますか。</p>	19	2	2	<p>(あくまでも運営ですが)対応の遅い子どもさんや職員さんの手が取られてるな〜と気がしています。 【保護者サービス】に基拠をする子は、どの子ども発達上の課題や支援の必要性があります。 お友達との争いや声掛けを職員さんの支援の中でされるかと伝わりますが、「タイミング」や「声」も重要かと思えます。せっかくいい対応をされているのに、児童館職員さんが少ないのでそのチャンスを活かしてあげてほしいな?と少し思いました。 どうぞ来年度は職員体制を充実してくださればありがたいです。よろしくお願ひします。 また、他所の事業所では保護者や自立支援協議会等区地域助成(子ども助)や外部のアドバイザー(倉丸和雄様さん)に依頼して事例検討会などをされているようです。「他所の話を聞く」のも、事業所のためにも検討されてもいいのかな?と少し思いました。</p>	<p>御意見ご自身ありがとうございます。 職員体制につきましては、前記させていただきました通り、取組状況を伝えながら検討させていただきます。 また、保護者様への関与は行ってはおりませんが、今年度は事業所のある地区と、ご利用者様が居られる女性用区民の自立支援協議会へ参加しており、他事業所様の支援を併用したり、実際に事業所への見学もさせていただいております。今後アドバイザーさんとの繋がりがもつてくださる良いと承知しております。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスminami		2026年1月31日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		曜日によってはもう1人居た方が良いと思う事もあるが、基本人員+加配の指導員で対応している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	その都度、変更したりしている。特性に応じ空間を区切るようにしているが、不十分などところもある。	2階なので、階段や段差のバリアフリー化は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日のミーティングを行っている。職員全体で振り返る時間を作り、共通理解をして日々の支援改善などを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			可能な範囲で対応しているが、全てを反映は難しい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		第三者機関がない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		参加の促しをしている。積極的に外部の研修には参加させてもらっている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		個別の書式で対応している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動を行う目的などを話し合っていて決めている。活動の振り返りもその日の業務終了後にしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			送迎が遅くなってその日にできなかった時は翌日にフィードバックを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			可能であれば2名参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	協力医療機関、学校、相談支援事業所などの連携	できているところもあるが、不十分なところもある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	対応が難しいところは相談支援から情報共有してもらっている。	該当事例がない為、行ったことはない。必要な時は情報共有はしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	まだ卒業生はいないが、担当者会議で共有予定	上記に同じ。今後卒業する利用者がある場合は情報共有をしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	区主催の研修会に定期的に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		状況的に難しいこともあるが、してみたい。公園での交流はあるが、予定を合わせている訳ではない。児童の個人情報もあるので、地域との交流は保護者様の同意が必要だと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		HUGを使って利用日には記録でお伝えしている。また、送迎時等にも行っている。連絡帳、送迎時でのやりとりは、共有しあい共通理解に繋げている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		父母の会を開催していない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	1	5		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		開所月を基準に年3回行っている。児童と取り組んだ際はインスタグラムに様子を載せている。	義務なので行っているが、保護者様への周知が足りず、やっていないと思われる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	指示書は買っていないが、保護者がご自宅で対応している方法を共有させていただいている。自分で採取可能なアレルギーの薬を持参してもらっている。アレルギー関連のものの個別のおやつボックスを用意している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		弊社ホームページに掲載している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年1回以上の研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				